

TM ニュース

TM ミーティング参加生徒用情報①2018.5.28

TM ミーティング始まる

4月25日に1年生25名が参加する今年度初めてのTMミーティングが行われました。まずTM担当よりTM生としての心構えや活動参加に際しての注意事項等の説明が行われました。このあとNPO法人「16歳の仕事塾」から講師の熊谷先生・ファシリテーターの櫻井さんをお招きし、社会人基礎力研修の第1回として『「チーム医療」のためのコミュニケーションワークショップ』と題した活動が行われました。櫻井さんのリードによるアイスブレイクのあと、前半は熊谷先生のご講演がありました。病院管理栄養士としてチーム医療に携わっておられる先生のお仕事の中身に始まり、たくさんの患者さんとのふれあいを通して「今を生きる」ことの大切さや、異なる専門性をもつスタッフの共創により新たな価値が生まれ、それが社会を変える力にもなり得るというお話を診療報酬改定の例などを交えながらお話いただきました。ものごとを成し遂げるためには具体的な目標をおいて行動することが大事という先生のお話にTM生たちは身を乗り出して聴き入っていました。



講演中の熊谷先生

後半はグループに分かれてチームワークづくりの研修会を行いました。「付箋ゲーム」と「チェーンづくりゲーム」の2つのワークショップをとおして参加者はコミュニケーションの重要性を再確認しました。チェーンづくりゲームは実際の医療現場でも取り入れられているワークショップでもあり、瞬時にクオリティーの高いチームパフォーマンスが可能になるよう土台づくりとして役立てられることもあるそうです。TM生たちにも刺激的だったようで、どのグループも集中して取り組んでいました。1回目のゲームのあと個人的な振り返りやグループでのディスカッションを行い、再度のトライ。活発な意見交換を経ての作業は、あえてハサミを使わなかったチームや、まずのりを塗ってから紙を切り始める

チームなど、チームの個性が表れていました。活動のあと熊谷先生のとともにもチームが作業をする中でかじ取り役としてのファシリテーターの重要性についての提言もいただきました。ワークショップ全体のファシリテーターをお願いした櫻井さんからは、話を集中して聴き、その内容をすぐに行動に移し、工夫を加えることまでできてしまうTM生にとっても感心しましたとのご感想もいただきました。参加者53名（3年7名、2年21名、1年25名）



ファシリテーターの櫻井さん

<参加者の気づきや感想>

- 人のアドバイスやアイデアを自分に活かせるようにしたい。みんなが意見を言い合える環境をつくりたいと思った。
- 一人ひとり考えていること、得意なこと、できることそれぞれたくさんあってそれを上手く積み上げていくことができれば強力なチームワークがうまれて、「できること」の新しい世界を広げることができると思った。医療は決して一人ではできない！知恵を出し合い協力できるからこそ人が助かる!!ということをお忘れしないでいきたい。
- 将来自分もチーム医療の一員として貢献するということを意識してTMのメンバーと最高のチームワーク・コミュニティーを築き上げていきたいです。



活動後の振り返り

合格者に聞く

3月23日(金)に、この春に医学部に合格した7人の先輩の中から5人の方(東京慈恵会医科大学東京枠、佐賀大学医学部、千葉大学医学部、筑波大学医学部、東京医科歯科大学医学部)を迎えて「卒業生懇談会」が開かれました。前半は医学部合格への道のり、アドバイスなどをそれぞれが語ってくれました。その中からいくつか抜粋して紹介します。

- ・模試の結果が悪くともがっかりせず、へこたれず、「できたところとできないところがわかれば良い」と思って、6時間くらい復習をすることを続けた。
- ・自信と運を引き付けるために勉強をしていると考えた。“自信をもって解く”のと“苦手と思って解く”のでは違うので、「私に解けない問題はない!」と違って臨むようにした。
- ・部活に3年生の4月まで参加していたが、やめた時点で切り換えてどれだけ頑張れるかだと思う。
- ・1,2年は塾に行かず、最後の一年間は自習室を利用するためだけに塾に入って、毎日閉館まで自習した。
- ・推薦入試を利用するため、センター試験前に面接や小論文対策のための時間を取らなければならないので、「こんな事をしている時間に問題を解いた方がよいのかも…」と思ったが、チャンスが一回増えると思えば挑戦してよかった。
- ・各大学の医学部の試験内容、方法をよく調べて、自分にあったところを探したほうが良い。(選択科目、調査書の比重、センターと二次の割合など)
- ・予備校には行かずに、戸山の授業中心のスタイルを続けられたことが良かった。授業をきちんと聴くことが大切。
- ・2年生の頃、予習・復習をきちんとやりテストで点がきちんと取れることを目指しているうちにどんどん伸びていった。クラスの上位なら戦える。
- ・基本ができていればセンター試験で高得点が取れる。それが大きかった。さらに基本ができていれば、二次試験に必要な学力もついている。
- ・2年生のうちに2次試験の科目などをしっかり調べておくとよい。
- ・学習の習慣をきちんとつけるため、個別の学習室(有料)を利用した。
- ・“スタディサプリ”で勉強時間を記録し、自分と似た状況の友人と競争をするなどして、やる気が落ちていかないように頑張った。
- ・自分に合う勉強方法を見つけることが大切。
- ・大学により、医学部のみの問題が出題されるのか。それとも他学部と共通問題なのかを知っておくことも重要である。



(卒業生との懇談を終えての記念写真)

後半は合格者との懇談会でした。最後に布施校長より、「先輩の話をしっかり聴いて、これからの高校生活をどうするか、1年生は二年後に、2年生は一年後にどんな話ができるかを考えてみてください。」との話がありました。

<スタディサポートの分析会の報告 その1>

4月21日(土)には、3年生向けに「スタディサポートの振り返りと今後の学習について～希望進路の実現のために～」の講演がありました。教育情報提供会社の田中優惟氏より①医学部受験の目標レベルはSレベルを目指しましょう!②受験に向けて今すべきことは何かを整理することが大切であり、まずは基礎事項の習得をしっかりとこなすことです・・・今押さえておかないとどこかで必ずやらなくてはならなくなるので今のうちにやっておきましょう!とのお話がありました。その後、一人ひとりの質問にも丁寧に答えていただき、「いろいろな人の話を聴いて実行する」段階から、「いろいろな人の話を聴いて工夫する」段階を目指してほしいとのメッセージをいただきました。布施校長からは、いろいろな人がバックアップをしているので、それらの支援を有効に使ってほしいとの話がありました。

【今後の予定】

- ・5月24日(木)15:00～ 3年生対象の医学部受験対策についての講演会(1,2年生も参加可能)
- ・6月2日(土)13:00～ 1,2年生対象
スタディサポートの結果に基づく「国公立医学部医学科現役合格に向けた対策授業」として英語・数学の学習について外部予備校講師の方によるアドバイスと授業があります。
さらにTM論文テーマについての説明があり、いよいよ論文作成が始まります。
- ・6月16日(土)13:00～ 1,2年生対象(高3可)
東京医科歯科大学、自治医科大学、東京女子医科大学の大学紹介と入試情報の講演会があります。

◎TMの活動がどんどん始まりますので、各自でスケジュール管理をしっかり行ってください。